

2015年3月期 第3四半期 決算補足資料

1. 決算概観(連結)
2. 業績のポイント
3. 主な子会社の業績と予想
4. 主要製品の状況
5. 開発品一覧

【参考資料】

6. セグメント情報
7. 業績と予想(連結)

2015年2月2日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2015年3月期 第3四半期 決算概観(連結)

単位:(百万円)

	12年3月期 第3四半期	13年3月期 第3四半期	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期	前年比	15年3月期 (予想)	前年比
売上高	77,413	79,229	83,430	83,602	+0.2%	111,700	+0.3%
営業利益	11,668	13,711	13,503	10,691	-20.8%	13,800	-21.6%
経常利益	12,358	14,288	13,961	11,181	-19.9%	14,300	-21.8%
当期純利益	7,227	9,262	9,272	9,571	+3.2%	11,600	-3.5%

15年3月期 第3四半期 連結業績(実績)

【売上高】 新製品である「フルティフォーム」は、投薬期間制限解除等により大幅に伸長しましたが、薬価改定、後発医薬品の使用促進策等により、新医薬品の売上は前年に対して減少しました。他方、後発医薬品の売上が前年を大幅に上回る実績で推移したことから、売上高は836億02百万円(前年比0.2%増)と増収になりました。

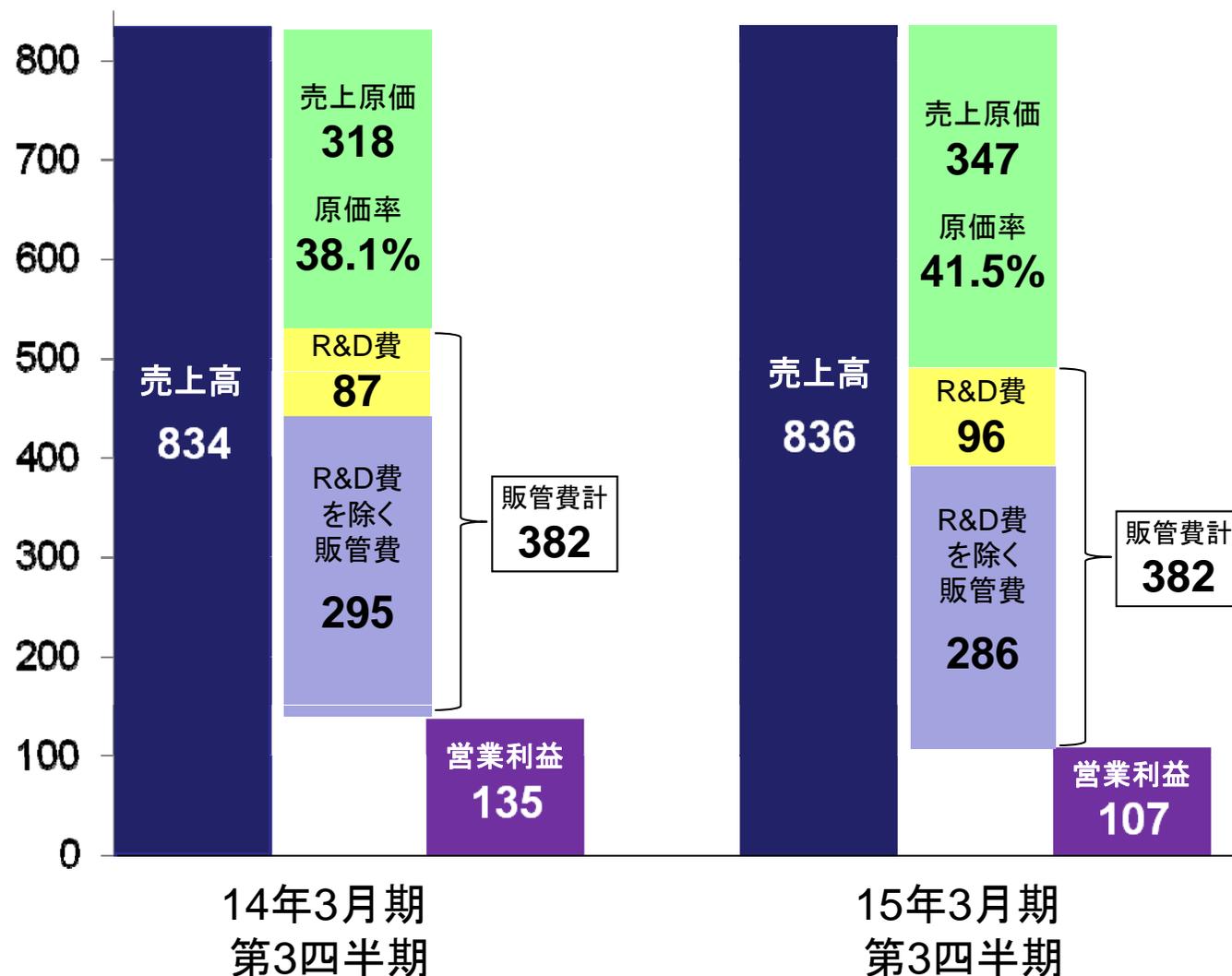
【利益】 薬価改定の影響、医薬品事業における製品の売上構成の変化等により、原価率が上昇し、売上総利益は前年に対して28億08百万円減となりました。販売費及び一般管理費につきましては、R&D費が前年比で9億円増加したものの、販売費等の削減に努め、全体としては横ばいで推移し、営業利益は106億91百万円(前年比20.8%減)となりました。当四半期純利益は特別利益を約45億円、特別損失を約17億円計上したため、95億71百万円(前年比3.2%増)となりました。

15年3月期 連結業績(予想)

【売上高、利益】 売上高および利益の業績予想は、2014年11月4日に公表しました内容を現段階で変更いたしません。(予想に対する進捗度 売上高:74.8% 営業利益:77.5%)

2015年3月期 第3四半期 業績のポイント

(億円)



➤ 売上高は前年比2億円増

- ・新医薬品の売上減少
- ・後発医薬品の売上増

➤ 売上原価額は29億円増

- (売上原価率は3.4%上昇)
- ・薬価改定の影響
 - ・後発医薬品の売上ウェイト上昇
 - ・海外新医薬品の売上減少

■ 売上総利益は前年比28億円減

➤ 販管費は前年比横ばい

- ・R&D費は9億円増
- ・販管費(R&D費除く)は9億円減

■ 営業利益は前年比28億円減

2015年3月期 第3四半期 業績の状況

(単位:億円)

	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期	対前年
売上高	834	836	+2
医薬品事業	822	826	+4
◆新医薬品	703	676	-27
○国内	688	670	-18
○海外	14	6	-8
◆後発医薬品	88	119	+31
◆一般用医薬品他	31	32	+1
ヘルスケア事業 (スキンケア)	12	10	-2
営業利益	135	107	-28
経常利益	140	112	-28
四半期純利益	93	96	+3

※国内新医薬品にキョーリン製薬グループ工場の売上を含みます

	対前年
■売上高	836億円 (+2)
◆医薬品事業	826億円 (+4)
●国内新医薬品	670億円 (-18)
14.3(3Q)実績	15.3(3Q)実績
・キプレス	296 ⇒ 293 (-3)
・ムコダイン	140 ⇒ 106 (-34)
・ペンタサ	145 ⇒ 134 (-11)
・ウリトス	59 ⇒ 55 (-4)
・フルティフォーム	3 ⇒ 26 (+23)
(30日製剤【120吸入用】を14年12月に新発売)	
●海外新医薬品	6億円 (-8)
・ガチフロキサシン	12 ⇒ 3 (-9)
●後発医薬品	119億円 (+31)
・主導的共同開発による他社受託ビジネス、自販における卸店ルート等の売上増	
●一般用医薬品他	32億円 (+1)
◆ヘルスケア事業(スキンケア)	10億円 (-2)
■営業利益	107億円 (-28)
◆営業利益率は12.8%と前年比3.4ポイント低下	
●原価率:前年比3.4ポイント上昇 (38.1%⇒41.5%)	
・薬価改定(杏林製薬:本体薬価ベース6%台)、後発医薬品の売上ウェイト上昇、ガチフロキサシンのロイヤリティ収入が減少	
●研究開発費率:前年比1.1ポイント上昇 (10.4%⇒11.5%)	
・9億円増加(87億円⇒96億円) KRP-114Vの契約一時金の発生等	
●販管費率(除くR&D費):前年比1.2ポイント低下 (35.4%⇒34.2%)	
・9億円減少(295億円⇒286億円) 削減努力により販売費・人件費等が減少	
■四半期純利益	96億円 (+3)

- ・特別利益:杏林製薬旧本社ビルの土地・建物の譲渡に関わる利益を約45億円計上
- ・特別損失:同社研究開発拠点の集約に伴う創薬研究所に関わる減損損失などを約17億円計上

主な子会社の業績と予想

(単位: 億円)

杏林製薬	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期
売上高	736	726
営業利益	121	88
当期純利益	86	84

14年3月期	15年3月期 (予想)
977	971
154	115
108	102

キョーリン リメディオ	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期
売上高	91	122
営業利益	5	15
当期純利益	3	10

14年3月期	15年3月期 (予想)
124	153
10	16
6	10

ドクタープログラム	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期
売上高	12	10
営業利益	1	-1
当期純利益	1	-1

14年3月期	15年3月期 (予想)
18	16
2	0
2	0

2015年3月期 第3四半期 主要製品の状況

(単位:億円)

		第2四半期		第3四半期				通期	
		14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期	対前年 増減率	通期 進捗率	14年3月期	15年3月期 (予想)
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	171	174	296	293	-1.1%	72.9%	402	402
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	82	62	140	106	-24.6%	76.2%	184	138
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	94	86	145	134	-7.3%	80.3%	186	167
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	37	34	59	55	-7.5%	72.6%	81	75
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	15	11	22	16	-26.8%	76.5%	28	21
	フルティフォーム (喘息治療配合剤)	—	9	3	26	+641.6%	64.2%	6	39
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	10	1	12	3	-75.1%	57.4%	15	5
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	10	10	16	15	-2.4%	76.9%	21	19

開発品一覧①(2015年2月2日現在)

PhⅢ ~承認

※:前回(2015年3月期 第2四半期 11月4日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (14年3月)	(欧州) アストラゼネカ社 : 上市(12年9月) (米国) アクティス社 : 上市(12年12月)	KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(アクリジニウム) ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い ※吸入器: Genuairを使用	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
PhⅢ (13年8月)	(欧州) アストラゼネカ社 : 承認(14年11月) (米国) アクティス社: 申請準備中	KRP-AB1102F (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラール社	長時間作用型ムスカリンM3拮抗剤(LAMA:アクリジニウム)と長時間作用性 β 2刺激薬(LABA:ホルモテロール)の配合剤	アルミラール社とライセンス契約 (11年2月)
※PhⅢ (15年1月)	(米国、欧州、他) 米国メルク社 : PhⅡ終了	KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱の β_3 受容体に作用する事で、膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	米国メルク社とライセンス契約 (14年7月)

開発品一覧②(2015年2月2日現在)

POCプロジェクト(Ph I ~Ph II)

※:前回(2015年3月期 第2四半期 11月4日発表)からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (11年8月)	Ph III メルツ社	KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月)
Ph II (13年3月)	Ph II (POC) (10年12月) ノバルティス	KRP-203	自己免疫疾患 臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調節剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約 (06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph II (13年9月)		KRP-AM1977X (経口剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリア、高い安全性を期待	
Ph II (14年6月)		KRP-AM1977Y (注射剤)	ニューキノロン系 合成抗菌剤	自社		

参考

開発段階	一般名	薬効	特徴	備考
MSD(株)が開発中(Ph III)	デスロラタジン	アレルギー性鼻炎 蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒	第二世代ヒスタミンH1受容体拮抗薬	※MSD(株)の関連会社と日本国内における共同販売契約を締結(14年11月)

参考資料

2015年3月期 第3四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位:億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	836	+2	107	-28
医薬品事業計	826	+4	106	-24
◆新医薬品	676	-27		
○国内	670	-18		
○海外	6	-8		
◆後発医薬品	119	+31		
◆一般用医薬品他	32	+1		
ヘルスケア(スキンケア)事業計	10	-2	-1	-2
調整額	-	-	2	-2

(注)「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

2015年3月期 第3四半期 業績と予想(連結)



(単位:百万円)

	第2四半期		第3四半期					通期	
	14年3月期 第2四半期	15年3月期 第2四半期	14年3月期 第3四半期	15年3月期 第3四半期	対前年 差額	対前年 増減率	通期 進捗率	14年3月期	15年3月期 (予想)
売上高	50,851	51,112	83,430	83,602	+172	+0.2%	74.8%	111,400	111,700
医薬品事業	50,040	50,518	82,223	82,629	+406	+0.5%	75.1%	109,678	110,000
◆新医薬品	42,858	40,755	70,276	67,564	-2,711	-3.9%	74.4%	93,518	90,800
○国内	41,697	40,422	68,843	66,986	-1,856	-2.7%	74.7%	91,668	89,700
○海外	1,160	332	1,433	577	-855	-59.7%	57.8%	1,849	1,000
◆後発医薬品	5,184	7,790	8,806	11,873	+3,066	+34.8%	79.2%	11,987	15,000
◆一般用医薬品他	1,997	1,972	3,140	3,191	+51	+1.6%	76.0%	4,172	4,200
ヘルスケア事業 (スキンケア)	810	593	1,206	972	-234	-19.4%	60.8%	1,721	1,600
営業利益	6,213	4,587	13,503	10,691	-2,812	-20.8%	77.5%	17,607	13,800
経常利益	6,531	4,898	13,961	11,181	-2,779	-19.9%	78.2%	18,281	14,300
当期純利益	4,397	3,495	9,272	9,571	+298	+3.2%	82.5%	12,025	11,600